

「うるとら手打ちそば」宅配事業

取組に至る背景・事業の目的

天龍村は長野県一高齢化率が高く、加えて、ひとり暮らし老人の割合も年々増加している。また、寄り合いなどへの参加も遠のくお年寄りも増えるなど高齢者の社会的孤立が進行している。

一方、我々「うるとら軽微隊」は、日頃から地域に貢献したいということで毎月の月例会と年1～2回のボランティア活動や地域のPR活動を行っている。

そこで、今回は村内の高齢者に楽しみを提供し、少しでも日常生活での不安感を解消できればという思いで、クリスマスの時期に「そば」を打って無償で届けることにした。

また、「そば」は村内の遊休荒廃農地の有効活用を図るため栽培した。

事業内容

地域住民との交流が不足がちな高齢者と交流を図るため、そば打ち道具を購入し、隊員自らが栽培・収穫し、隊員自らが打ったそばを、村内110の高齢者世帯に届けた。

事業効果

- 「そば」は、75歳以上の独居老人で非課税世帯（老人ホーム入居者を除く）110人に贈呈。配達方法は、隊員の近所に居住している方には隊員が直接手渡し、それ以外の方には社会福祉協議会を通じて配ってもらった。その結果、お年寄りからは多くの感謝の言葉をいただき、高齢者に喜びや楽しみを提供できたことを実感した。また、「そば」を手渡すことにより会話が生まれ、お年寄りには地域とのつながりを感じてもらえたと思うと同時に、高齢者の社会的孤立を防ぐ一助になったと思う。
- 遊休荒廃農地の有効活用につながった。
- 「そば」打ちを通じた世代間交流など様々な交流の機会を増やす可能性を秘めている。

工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

打ちたてのそばをできるだけ早く届けたいとの思いで、社会福祉協議会（宅配ボランティア）に協力を求めた。「そば」は、村内の遊休荒廃農地を借用し栽培したが、村の気候のせいかわつた程の収穫ができなかった。

この事業をきっかけに、地域全体にお互いがお互いを思いやるといった「共助」の仕組みを拡大させていきたい。今後もできる限り継続すると共にそば打ちイベント等を行い、交流の機会を増やしたい。

【選定のポイント】

村を支えていく世代が自ら率先して様々なボランティア活動を行ってきたが、今回は遊休荒廃地でそばを栽培し、自らの手でそばを打ち、地域の高齢者にそばを届け高齢者との交流を図り、地域で見守る安心感を与えている。こうしたボランティア活動が継続して取組まれていることで、支え合いの意識が徐々に醸成されており、高齢化が進む中山間地域における地域づくりの新たな取組みとして非常に高く評価できる。



【隊員によるそば打ちの様子】



【そばの一部を社会福祉協議会へ】

団体名	うるとら軽微隊（天龍村）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0260-32-2001	事業費	161,338円
	天龍村役場総務課むらづくり推進係	支援金額	161,000円